

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、27～30℃台を示し、かなり高め～著しく高めました。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——月夜間とシケのため出漁日数が少なかった。西彼地区では、マイワシが1日1統当たり13トンの水揚げで、前週の59%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マイワシが1日1統当たり11トンの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり22トンの水揚げで、前週の1.2倍（前年を上回った）。
- イカ釣——スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり11kgの水揚げで、前週の1.4倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり30kgの水揚げで、前週の10%（前年を下回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり90kgの水揚げで、前週の78%（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり420kgの水揚げで、前週の10%（前年を下回った）。
- 定置網——五島魚目地区では、9月より漁が再開されトビウオなどが1日1統当たり687kgの水揚げ。対馬西岸地区では、カンパチなどが1日1統当たり113kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり168kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり9kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（9/4～9/9の6日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、八戸沖で操業。アカイカ漁は北太平洋で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、対馬及び山口沖、山陰沖、能登沖、佐渡沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）は、2日延2隻、総計281箱、1航海最高190箱、平均140.5箱。スルメイカ（20～30入）43箱、ケンサキイカ（2～4立）238箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>